

Laneed
Easy Network Solution Provider

PCMCIA TYPE II
Ethernet PC Card

PCMCIA TYPE II 準拠 イーサネットPCカード

■ LD-CDY 10BASE **T**

User's Manual

OSなどの
導入手順フロー

4・5ページ

必ず
お読みください。

Windows95
プログラムのインストール

WindowsNT4.0
で使う

必ず
お読みください。

PCMCIA TYPE II 準拠
16bitイーサネットPCカード

LD-CDY
10BASE-T

User's Manual
ユーザーズマニュアル

ご注意

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートは行っておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

■ ■ はじめに ■ ■

この度は、弊社ラニード製品PCMCIA対応イーサネットカード"LD-CDY"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-CDY"をコンピュータ本体に導入するにあたって手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-CDY"を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業を行って製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警 告



小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業を行わないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。
けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしの際は、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注 意



本製品の取り付け、取りはずしの際は慎重に作業を行ってください。
強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品の取り付け、取りはずしの際は、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業を行ってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

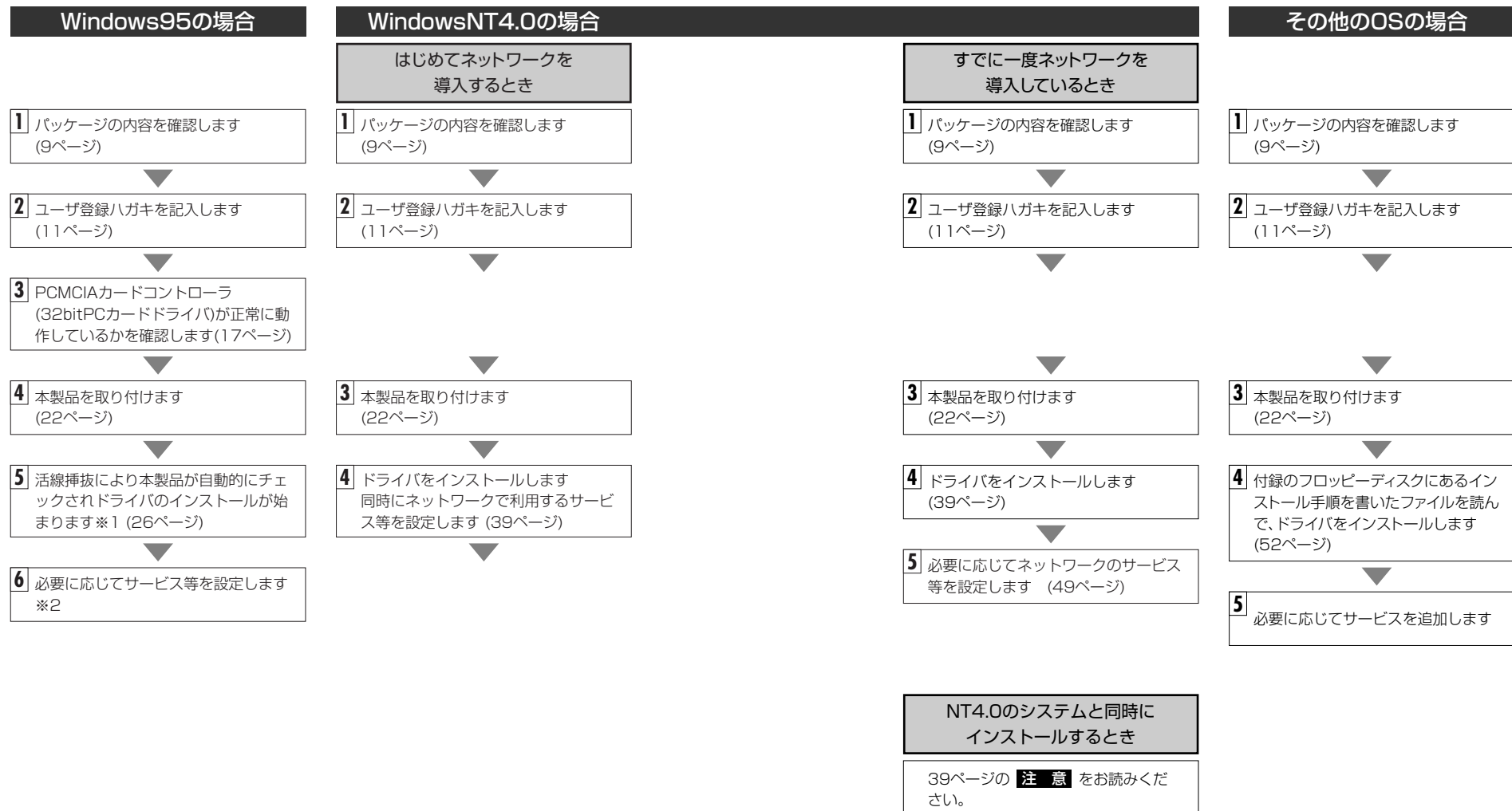


長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。また、バッテリーもはずしておいてください。

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)に適合しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受像機等に受信障害を与えることがあります。このマニュアルの説明にしたがって正しくお取り扱いください。

OSごとの導入手順フロー

おもなOSにおける本製品の導入手順をフローで説明します。



※1 プラグ&プレイでもドライバディスクやWindows95のディスクを挿入する作業が必要なことがあります。
※2 このマニュアルの34ページからWindows95のピア・ツー・ピアによるネットワークの設定例を説明しています。参考にしてください。

このマニュアルの表記について

●用語について

本製品・・・LD-CDYのことを、このマニュアルでは、「本製品」と記載しています。

●記号について

記 号	意 味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
↑ ↓	キーボード上のカーソルキーを表わします。
Enter	キーボード上のEnterキーを表わします。
スペース	キーボード上のスペースバーを表わします。
Esc A	その他、キーボード上のキーを表わします。

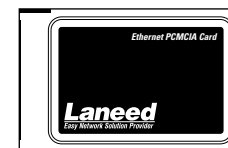
もくじ

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
本製品の導入手順	4
このマニュアルの表記について	6
もくじ	7
1. パッケージの内容を確認する	9
2. 製品の保証とユーザ登録	10
製品の保証とサービス	10
ユーザ登録について	11
3. 本製品の概要について	12
本製品の特長	12
動作環境について	13
4. 各部の名称とはたらき	14
5. 本製品を使用するにあたっての注意事項	15
6. Windows95で使うときは[セットアップの前に]	17
PCMCIAコントローラ(32ビットカードドライバ)を確認する	17
PCMCIAコントローラが正常に表示されないとき	20
7. コンピュータ本体への取り付けと取りはずし	22
取り付けの方法	22
取りはずしの方法	23
8. Windows95でのセットアップ	26
ドライバをセットアップする	26
ピア・ツー・ピア環境の設定例	34
9. WindowsNT4.0でのセットアップ	39
10. その他のOSへのドライバのインストール	52
11. アダプタのプロパティ	54
Windows95の場合	54
WindowsNT4.0の場合	55

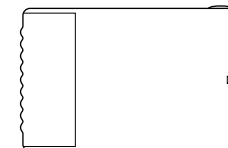
12. 16bitドライバの導入	56
カードサービスとソケットサービスについて	56
13. テストプログラムによるチェック	59
付録 こんなときは	64
サポートサービスについて	68
基本仕様	70

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店が弊社ラード・サポートセンターまでご連絡ください。

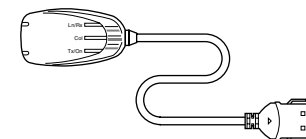
- イーサネットカード"LD-CDY" 1枚
PCMCIA Type II 準拠です。



- 保護ケース 1個
カードを使用しないときは、このケースに入れて保管してください。



- メディアカブラ 1個
イーサネットカードと10BASE-Tケーブルをつなぐためのカブラです。



- ドライバディスク 各1枚
・PC/AT互換機(DOS/Vマシン)
 およびNEC PC98-NX用 1枚
・NEC PC-9800(9821)
 シリーズ用 1枚



- ユーザズマニュアル
このマニュアルです。
導入後も大切に保管してください。



- ユーザ登録カード
本製品の導入前に記入し、すみやかにご返送ください。



- 保証書
このマニュアルと合わせて大切に保管してください。



製品の保証とサービス

本製品には、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じた、いかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えて、下記修理センターにご依頼ください。

エレコム修理センター

〒343-0822 埼玉県越谷市西方2722-1 小山企業センター内
エレコム株式会社 エレコム修理センター
電話番号 0489-61-1687
電話受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)

ユーザ登録について

パッケージの内容が確認できたら、作業をはじめる前に、ユーザ登録カードに必要なことをご記入の上、ご投函ください。

郵便はがき 現金受取人証 170-8765 6077 東京都豊島区東池袋3-13-2 住友不動産東池袋ビル 〒113-8601 東京都豊島区東池袋3-13-2 住友不動産東池袋ビル Lanreed サポートセンター行 ユーザ登録カード ●氏名 姓 名 ●電話番号 ●Eメール ●住所 ●郵便番号 ※裏面のアンケートにご協力をお願いします。		番号を控えておきます。 品番 S/N 会社名、住所などを記入します。 ※裏面のアンケートにもお答えください。 ご意見は、今後の製品開発などに役立てていきます。
---	--	--

本製品に関して、ご質問がある場合は、ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3981-4147 FAX : 03-3981-2102

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間行っております。

●インターネット：<http://www.elecom.co.jp>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイドランスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000 大阪：06-455-6000 名古屋：052-453-6000
福岡：092-482-6000 札幌：011-210-6000 仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000

本製品の特長や動作環境などを説明します。

本製品の特長

●モバイルの活躍を広げるPCカードタイプのイーサネットカード

PCMCIA TYPE II 準拠でPCカードスロットに差し込んで使えるイーサネットカードなので、出先でモバイルコンピュータをネットワークに接続、大容量のデータも簡単にやり取りできます。イーサネットだからフロッピーや赤外線通信に比べても高速にデータ転送が可能です。本製品を使えばモバイルのメリット生かす大きな武器になります。

●プラグ&プレイで簡単設定

本製品はWindows95のプラグ&プレイに対応しています。システムが本製品を認識すると自動的にセットアップが開始され、画面に表示されるメッセージに従ってドライバのインストールやネットワーク設定を行うだけで、すぐに使用できるようになります。IRQなどのむずかしいハードウェア設定を意識する必要はありません。

●PCMCIA TYPE II、活線挿抜に対応

本製品はPCMCIA規格TYPE II に準拠しています。PCMCIA TYPE II またはTYPE III に準拠したPCカードスロットで使用できます。また、Windows95などでサポートされている「活線挿抜」に対応していますので、「活線挿抜」に対応した環境では、コンピュータの本体の電源を入れたまま、本製品の抜き差しが可能です。

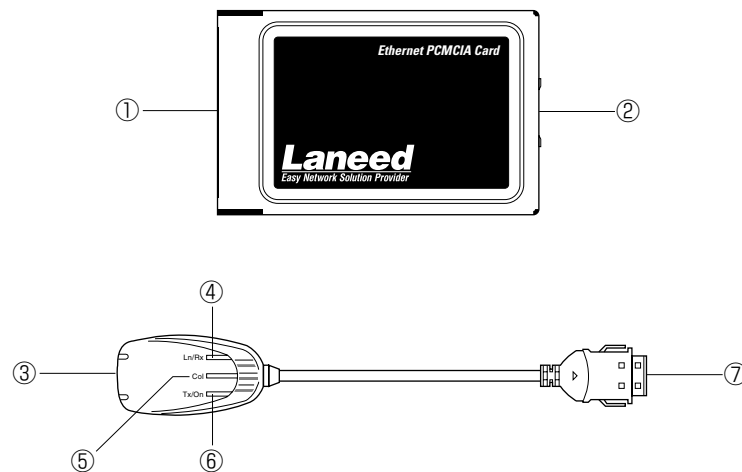
●各種ネットワークOSに対応

Windows95、Windows NT4.0/3.51などのOSに加え、NetWare4.11J、NetWare4.10J、NetWare3.12JのNetWare各クライアント版やMs-LanmanagerなどのネットワークOSにも対応します。また、NDISやODIといったネットワークドライバも付属します。

動作環境について

本製品の動作環境は次のとおりです。

対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、NEC PC-9800シリーズでPCカードスロット(PCMCIA TYPE II)を持つ機種 ※ノートパソコンの最新の対応情報は、11ページに記載されていますラニード・ホームページまたはFAX情報サービスでご確認いただけます。
対応OS	Windows95、Windows NT4.0、Windows NT3.51 NetWare4.11J、NetWare4.10J、NetWare3.12JのNetWare各クライアント版、Ms-Lanmanager



①	68ピンコネクタ	コンピュータのPCMCIA TYPE IIまたはTYPE III対応のPCカードスロットへ差し込むコネクタです。コネクタを指で触れないように注意してください。
②	15ピンコネクタ	メディアカブラの15ピンコネクタ側と接続します。コネクタを指で触れないように注意してください。
③	RJ45モジュラー ジャック(10BASE-T)	10BASE-TのRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。
④	Ln/Rx (LEDインジケータ)	リンクが確立されるときに緑色に点灯します。また、データを受信しているときにも緑色に点灯します。データは断続的に受信されますので、見かけ上は点滅しているように見えます。
⑤	Col (LEDインジケータ)	ネットワーク上でコリジョン(データの衝突)が発生しているときに黄色に点滅します。
⑥	Tx/On	PCカードスロットに電源が供給されているとき緑色に点灯します。また、データを送信しているときにも緑色に点灯します。データは断続的に送信されますので、見かけ上は点滅しているように見えます。
⑦	15ピンコネクタ	イーサネットカード側の15ピンコネクタに差し込みます。

本製品の導入にあたっての注意事項と、導入後に使用するにあたっての注意事項を説明します。必ずこの項目をお読みになり、本製品を正しくお使いください。

導入時の注意事項

●ドライバのインストールにフロッピーディスクドライブが必要です

本製品のドライバは付属のフロッピーディスクで供給されています。本製品のドライバをインストールするためにフロッピーディスクドライブが必要になります。

●Windowsオペレーションディスクが必要です

WindowsオペレーションシステムのCD-ROMまたはフロッピーディスクが必要です。(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)

●Windows95でPCカードスロットがひとつしかない場合の注意点

PCカードによるCD-ROMドライブを使用している場合、インストール中にCD-ROMドライブが使用できません。Windows95オペレーションシステムがCD-ROMのときは、あらかじめWindows95 CD-ROMにある¥win95"ディレクトリのすべての内容をハードディスクにコピーしておいてください。(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)

使用時の注意事項

●パワーマネジメント機能について

パワーマネジメント機能を有効にしていると、PCカードスロットへの電源供給も停止されたため、本製品を使用することができません。必ずパワーマネジメント機能は無効(OFF)にしてください。パワーマネジメント機能の変更方法はコンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

●活線挿抜について

本製品は「活線挿抜」に対応しています。Windows95などカードスロット用のドライバが「活線挿抜」に対応したコンピュータでは電源をONにしたままPCカードを抜き差しできます。ただし、取りはずすときに必要な操作があります。24ページ「取りはずすとき」をお読みになり、正しい手順で取りはずしてください。なお、WindowsNTは「活線挿抜」に対応していません。

●付属のテストプログラムを使用するときは...

付属のテストプログラムはDOS上で動作するため16bitカードサービスおよびソケットが必要です。詳しくは56ページ「12.16bitドライバの導入」をお読みください。

6

Windows95で使うときは [セットアップの前に]

Windows95で本製品を使う場合、セットアップの前にPCMCIAコントローラが正常に動作していることを確認する必要があります。

PCMCIAコントローラ(32ビットPCカードドライバ)を確認する

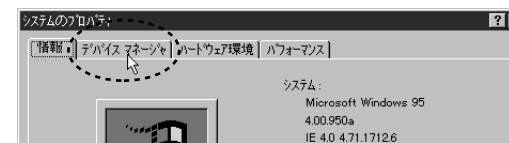
本製品をWindows95で使用するには、あらかじめPCMCIAコントローラ(32ビットPCカードドライバ)がインストールされている必要があります。次の手順で確認してください。

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[システム]アイコンをダブルクリックします。

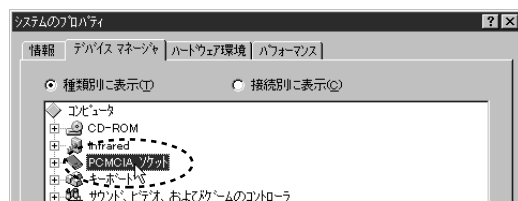


- ・〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。

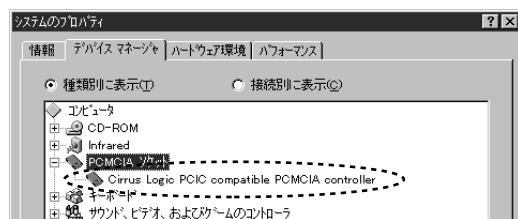
- 2 [デバイスマネージャ] タブを選択します。



- ・デバイスの一覧が表示されます。

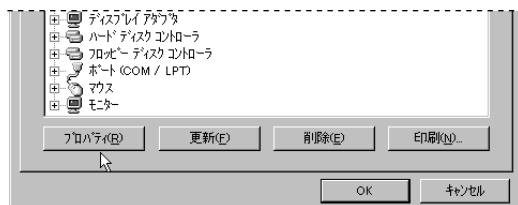
3 [PCMCIAソケット]をダブルクリックします。

- ・ [+]が[-]に変わり、そのコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラが表示されます。

4 正常に動作しているかを確認します。

※表示されるPCMCIAコントローラ名はお使いのコンピュータによって異なります。

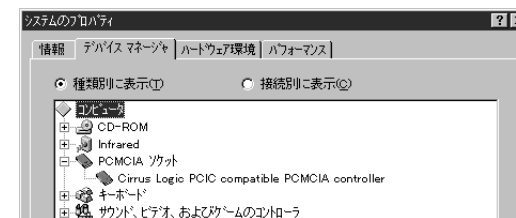
- ・ (!)や×が表示されているときは、正常に動作していません。

5 PCMCIAコントローラを選択した状態で、**プロパティ(P)**をクリックします。

- ・ プロパティが表示されます。

6 [デバイスの状態]で「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。

- ・ (!)や×が表示されているときは理由が表示されます。
- ・ 画面を閉じるには、コントローラのプロパティ画面で **OK** をクリックします。続いて、**システムのプロパティ** 画面で **OK** をクリックします。

(!)や×が表示されているときやデバイスが競合状態にあるときは...

- ・ 次ページの「PCMCIAコントローラが正常に表示されないとき」をお読みになり、PCMCIAコントローラを再インストールしてください。

PCMCIAコントローラが正常に表示されないとき

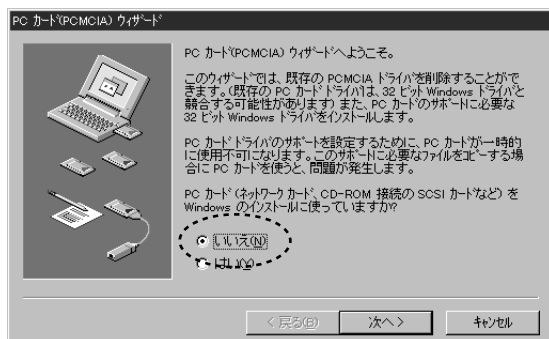
(！)や×が表示されているときやデバイスの競合しているときは、正常に動作していません。次の手順でインストールし直してください。

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[PCカード (PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。



・ <PCカード (PCMCIA)ウィザード> 画面が表示されます。

- 2 [いいえ]を選択した状態で、[次へ>] をクリックします。



・ 次の画面へ進みます。

- 3 [いいえ]を選択した状態で、[次へ>] をクリックします。

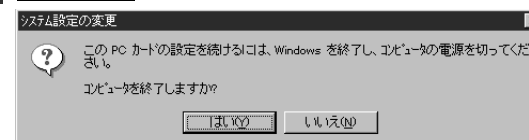


- 4 [完了] をクリックします。



・ 一度、Windows95を終了するか確認のメッセージが表示されます。

- 5 [はい] をクリックします。



・ 再度、コンピュータ本体の電源を入れます。

17ページの手順 1 から始めて正常にインストールされているかを確認してください。

本製品をノートタイプのコンピュータに本製品を取り付ける方法とネットワークへの接続方法を説明しています。イーサネットカードの挿入方法やイジェクト方法は、本体の機種によって異なりますので、お手持ちのコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルの該当ページを説明部分も参考にしてください。

取り付けの方法



必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルも併せて読みながら、取り付けてください。

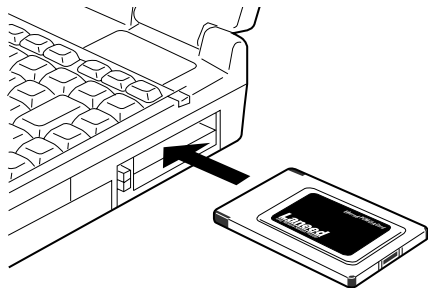


本製品の取り付けを始める前に、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

■ コンピュータ本体の電源がOFFになっていることを確認します。

本製品はWindows95の「活線挿抜」に対応しています。Windows95でコンピュータを使われる場合は、コンピュータの電源をONにした状態で本製品を差し込むことができます。

1 コンピュータのPCカードスロットに、本製品の68ピン側のコネクタを差し込みます。

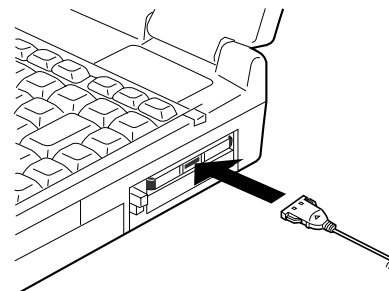


・うら・おもての向きを間違わないように注意してください。



カードを差し込むとき、向きを間違えると本製品のコネクタやコンピュータ側のコネクタを破損する恐れがあります。無理に差し込まないように注意してください。

2 本製品とメディアカブラの15ピンコネクタどうしを接続します。メディアカブラは15ピンコネクタに▲がある面を上にして接続してください。



・ツメがロックされ本製品とメディアカブラが固定されます。

3 メディアカブラのRJ45モジュージャックにRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。

・プラグをカチッと音がするまで、しっかりとジャックに差し込んでください。

取りはずしの方法

コンピュータのPCカードから本製品をイジェクトする方法は、コンピュータ本体によって異なりますので、コンピュータ本体のマニュアルの「PCカードスロット」に関するページを参照してください。なお、Windows95の活線挿抜により、コンピュータの電源を入れたまま、本製品を取りはずすときはPCMCIAソケットから切り離すための操作を行う必要があります。



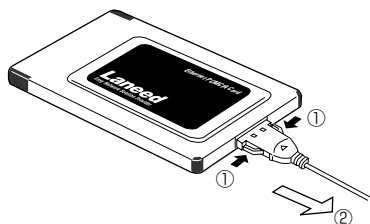
必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルを参照して取りはずしてください。



本製品の取りはずすときは、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし

- 1 メディアカブラからRJ45モジュラーケーブルのプラグを抜きます。
- 2 コンピュータ本体のマニュアルの説明に従って、PCカードスロットから本製品を取りはずしてください。
- 2 本製品からメディアカブラをはずします。

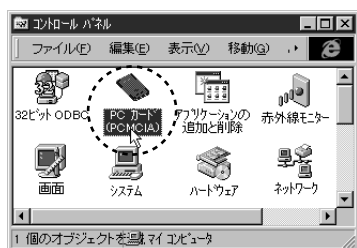


・カブラ側のコネクタのツメを押しながら抜きます。

これで本製品の取りはずしは完了です。

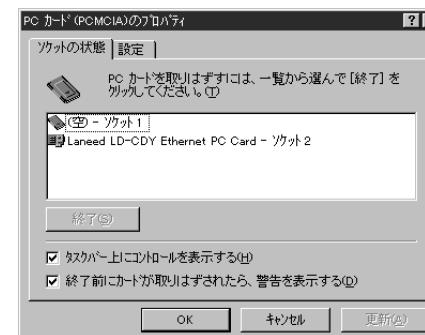
コンピュータ本体の電源が入った状態での取りはずし (Windows95の活線挿抜)

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[PCカード (PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。



・〈PCカード (PCMCIA)のプロパティ〉画面が表示されます。

- 2 "Laneed LD-CDY Ethernet PC Card"を選択し、**終了(S)**をクリックします。



・取りはずし可能のメッセージが表示されます。

- 3 **OK** をクリックします。



- 4 本製品をPCカードスロットから取りはずします。

このあとは、「コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし」と同じ手順で取りはずしてください。

Windows95でのセットアップ方法について説明します。

注意

Windows95でPCカードスロットがひとつしかない場合の注意点
PCカードによるCD-ROMドライブを使用している場合、インストール中にCD-ROMドライブが使用できません。Windows95オペレーションシステムがCD-ROMのときは、あらかじめWindows95 CD-ROMにある"¥win95"ディレクトリのすべての内容をハードディスクにコピーしておいてください。(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)

セットアップ画面を起動する

コンピュータ本体の電源を入れて、Windows95を起動します。

1 PCカードスロットにPCカードを差し込みます。

・PCカードの差し込み方法は22ページ「取り付けの方法」をお読みください。

2 しばらくすると新しいハードウェアを検出したことを知らせるメッセージが表示されます。

・Windows95のバージョンによって画面AまたはBが表示されます。

画面A



画面B(Windows95 OSR2)



画面Aのとき ➡ 次ページの **A1** へ進んでください。

画面Bのとき ➡ 28ページの **B1** へ進んでください。

画面Aのときのインストール手順

A1 「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」が選択されていることを確認して、**OK** をクリックします。

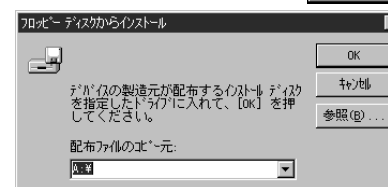


・〈フロッピーからのインストール〉画面が表示されます。

A2 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。

- ・PC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NXの場合は、「PC/AT用」のディスクを入れます。
- ・NEC PC-9800(PC-9821)シリーズの場合は、「NEC PC-9800用」のディスクを入れます。

A3 〈フロッピーからのインストール〉画面で **OK** をクリックします。

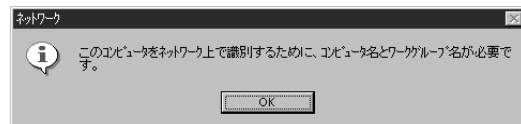


- ・[配布先ファイルの場所]のドライブ表示がフロッピーディスクドライブと異なる場合は変更してください。
- ・ドライバのインストールが始まります。

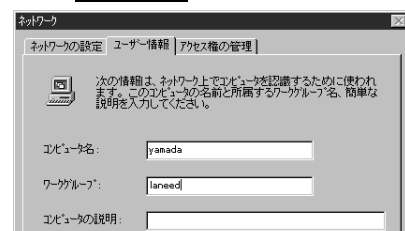
MEMO

インストール中のコンピュータで初めてネットワークの導入をしたとき

①[コンピュータ名]などの入力を促すメッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。



②【ユーザー情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終われば **閉じる** をクリックします。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

このあとは、31ページ **3-1** へ進んでください。

画面Bのときのインストール手順 (Windows95 OSR2の場合)

B1 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。

- ・PC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NXの場合は、「PC/AT用」のディスクを入れます。
- ・NEC PC-9800(PC-9821)シリーズの場合は、「NEC PC-9800用」のディスクを入れます。

B2 フロッピーディスクを挿入したら、**次へ>** をクリックします。



- ・フロッピーディスクのドライバを自動的に検索します。

B3 見つかったドライバ名として"Laneed LD-CDY Ethernet PC Card"と表示されていれば、**完了** をクリックします。

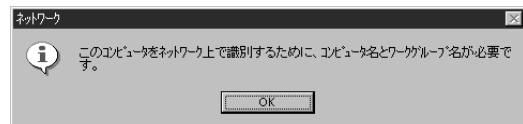


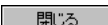
- ・〈ディスク挿入〉のメッセージが表示されます。

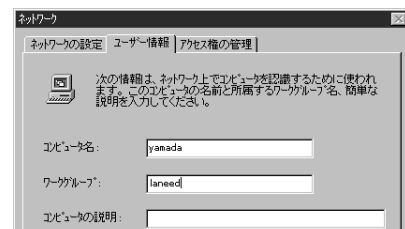
MEMO

インストール中のコンピュータで初めてネットワークの導入をしたとき

①[コンピュータ名]などの入力を促すメッセージが表示されますので、をクリックします。



②【ユーザー情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終われば  をクリックします。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

B4 <ディスク挿入>のメッセージが表示されたら、すでにディスクは入っているの
で  をクリックします。



・ <ファイルのコピー> 画面が表示されます。

B5-1 [ファイルのコピー]をフロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します。



フロッピーディスクドライブの
ドライブ名に変更します。

・ 通常、フロッピーディスクドライブはPC/ATの場合はAドライブです。NEC PC-9800の場合は、ご使用の環境により変化します。  をクリックするとドライブの一覧から選択できます。

B5-2 ドライブ名を変更したら  をクリックします。

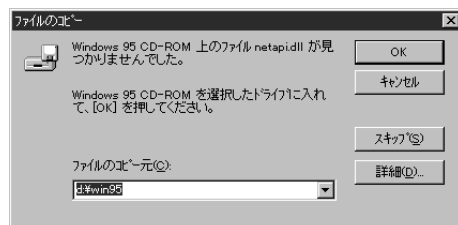
・ ドライバのインストールが始まります。次の **3-1** へ進んでください。

3-1 お使いの環境によって、Windows95のディスクを挿入するようにメッセージが表示されることがあります。



・ この場合は、Windows95のCD-ROMまたはフロッピーをドライブに挿入し、  をクリックします。
・ <ファイルのコピー> 画面が表示されます。

- 3-2** 「ファイルのコピー」でドライブ名とディレクトリ名が正しければ、**OK** をクリックします。



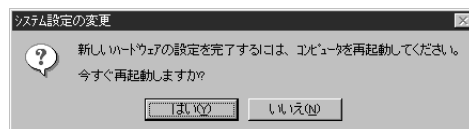
- ・ディスクを挿入したドライブ名およびディレクトリ名が異なる場合は、直接ドライブ名とディレクトリ名を入力するなどして変更してください。変更後、**OK** をクリックします。

MEMO CD-ROMの場合はドライブ名のあとに"win95"ディレクトリを指定します。
(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:\>win95

Windows95インストールモデルで、出荷時のまま"WINDOWS¥OPTION¥CAB"ディレクトリの内容を削除していないときは、このディレクトリから必要なファイルをコピーできます。

- 4** ドライバのコピーが終了すると、再起動しますかというメッセージが表示されます。
フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出します。



- ・ **はい** をクリックします。

- 5** 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。



- ・ [ユーザー名]は必ず入力します。
- ・ 必要であれば、[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、本製品への導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワーク設定を追加および変更してください。

次のページからWindows95のピア・ツー・ピアでの設定例を説明しています。
参考にしてください。

ピア・ツー・ピア環境の設定例

ここでは、Windows95のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。

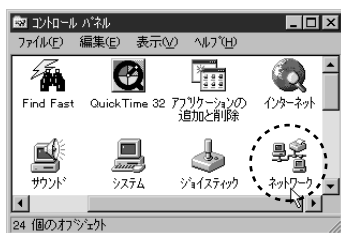
1 Windows95を起動しておきます。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルを開きます。



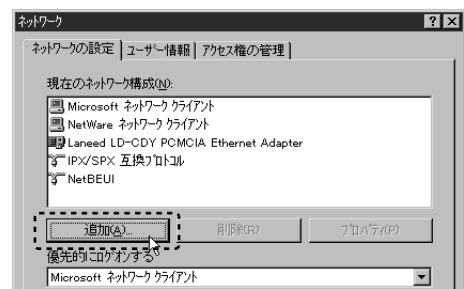
- ・ [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]の順に開いてもかまいません。
- ・ コントロールパネルが開きます。

3 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



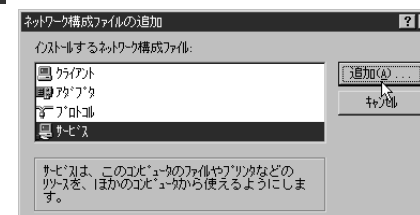
- ・ <ネットワーク> 画面が表示されます。

4 [ネットワークの設定] タブにある [追加(A)...] をクリックします。



- ・ <ネットワーク構成ファイルの追加> 画面が表示されます。

5 サービスを選択します。



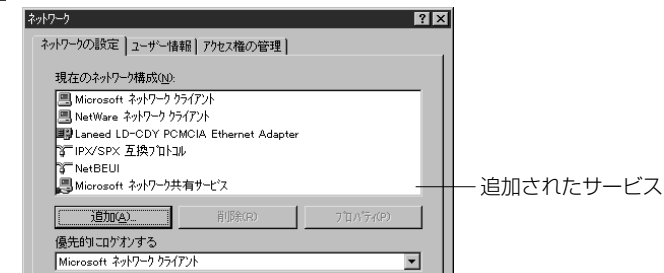
- ・ [サービス]をクリックし、[追加(A)...] をクリックします。
- ・ <ネットワークサービスの選択> 画面が表示されます。

6 サービスの内容を選択します。



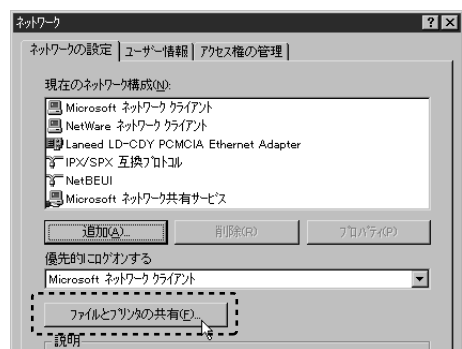
- ・ [製造元]で"Microsoft"をクリックします。[ネットワークサービス]の内容が表示されます。
- ・ "Microsoftネットワーク共有サービス"をクリックします。
- ・ 続いて [OK] をクリックします。

7 サービスが追加されました。確認してください。



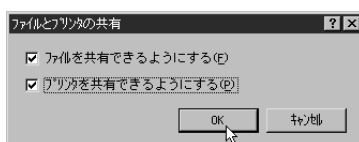
- ・ [現在のネットワーク構成]に"Microsoftネットワーク共有サービス"が追加されています。

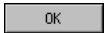
8 次に[ファイルとプリンタの共有]をクリックします。



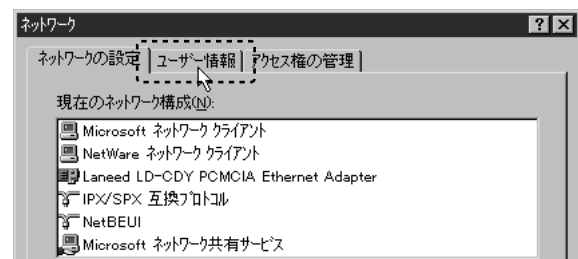
- ・〈ファイルとプリンタの共有〉画面が表示されます。

9 "ファイルを共有..." "プリンタを共有..."のチェックボックスを、両方ともチェック します。



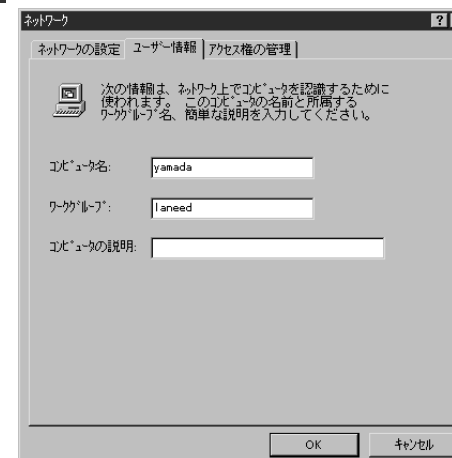
- ・  をクリックします。

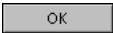
10 [ユーザー情報] タブをクリックします。



- ・〈ユーザー情報〉画面が表示されます。

11 [コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力します。

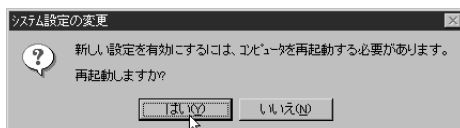


- ・ 項目の意味については、28ページのMEMOを参照してください。
- ・  をクリックします。

ディスク挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。



- ・ "Windows95 CD-ROM"またはフロッピーディスクのいずれかのディスクを挿入します。
- ・  をクリックします。

12 再起動するかメッセージが表示されます。

- ・ **はい (Y)** をクリックします。

再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

MEMO

ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定を行ってください。

- ①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックで選択し、メニューを表示します。

- ②メニューから**[共有]**を選択し、必要な事項を設定します。

■ファイル共有の画面例

すでにWindowsNT4.0がインストールされた状態で、本製品をセットアップする方法を説明しています。お使いになるコンピュータのシステムにネットワーク設定が存在するかないかでセットアップの流れが異なりますので、説明と表示される画面に注意しながらセットアップしてください。

注 意

WindowsNT4.0のインストールと同時にセットアップするとき

WindowsNT4.0はインストール中にネットワークアダプタの設定が可能です。WindowsNT4.0オペレーションシステムのマニュアルを参照しながら、このマニュアルの40ページ手順**5**～**9**を参考にインストールしてください。ドライバの選択では、"Lanecd LD-CDY PCMCIA Ethernet Adapter"を選択してください。ネットワーク設定に必要なプロトコル、サービスなどはネットワーク管理者の指示に従ってください。

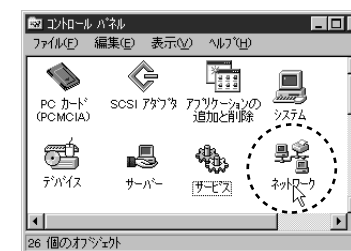
コンピュータ本体の電源を入れる前に、PCカードスロットに本製品を取り付けておきます。

1 コンピュータ本体の電源を入れて、WindowsNT4.0を起動します。

- ・ WindowsNT4.0へのログオン画面が表示されます。

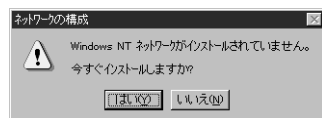
2 "Administrator"でログオンします。

- ・ WindowsNT4.0が起動します。

3 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロール 〉ウィンドウで、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

4 既存の環境によって画面AまたはBが表示されます。

■画面A



画面Aのとき

⇒ このあとの手順 **5** へ
進んでください。

■画面B

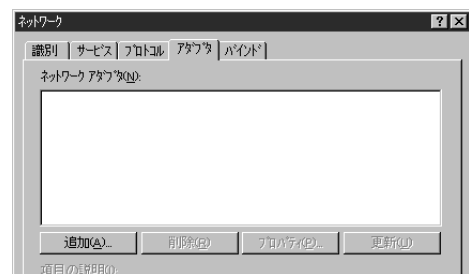


画面Bのとき

⇒ このあとの **MEMO** を読んで
から42ページの手順 **8** へ進
んでください。

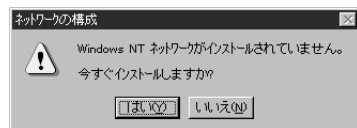
MEMO

【アダプタ】タブを選択し、追加(A)... をクリックします。



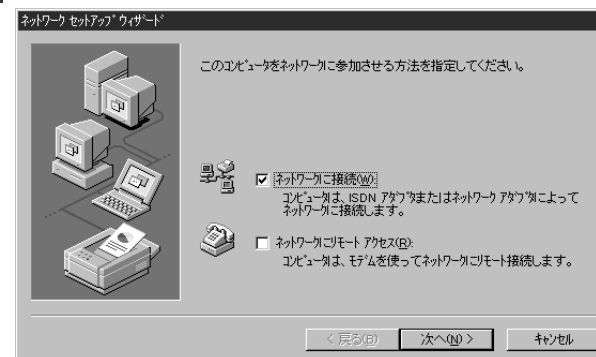
- ・〈ネットワークアダプタの選択〉画面が表示されます。
- ・42ページの手順 **8** へ進んでください。

5 そのシステムにはじめてネットワークを導入するときにこの画面が表示されます。



- ・ **はい(Y)** をクリックします。

6 [ネットワークに接続]をチェックし、次へ(N) > をクリックします。

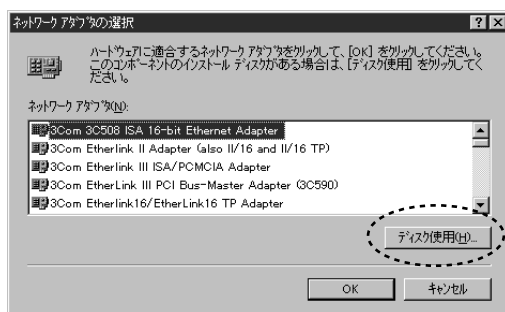


- ・ アダプタの選択画面が表示されます。

7 一覧から選択(S)... をクリックします。



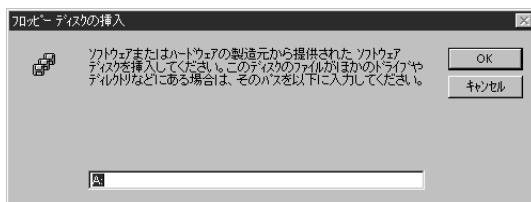
- ・ 〈ネットワークアダプタの選択〉画面が表示されます。

8 デイスク使用(H)... をクリックします。

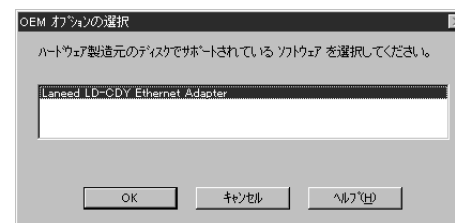
・〈フロッピーディスクの挿入〉画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブに本製品に付属のドライバディスクを挿入します。

- ・ PC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NXの場合は、「PC/AT用」のディスクを入れます。
- ・ NEC PC-9800(PC-9821)シリーズの場合は、「NEC PC-9800用」のディスクを入れます。

10 フロッピーディスクドライブのドライブ名を確認し、**OK** をクリックします。

- ・ 表示されているドライブ名がフロッピーディスクドライブと異なる場合は変更します。
- ・ 〈OEMオプションの選択〉画面が表示されます。

11 "Laneed LD-CDY Ethernet Adapter"を選択し、**OK** をクリックします。

- ・ はじめてネットワークを導入しているときはアダプタの選択画面に戻ります。

すでに一度ネットワークが設定されているとI/O Portなどを設定する詳細設定の画面が表示されます。その場合は、49ページ「ネットワークが設定されているときの手順」へ進んでください。

12 [ネットワークアダプタ]に、"Laneed LD-CDY Ethernet Adapter"が表示され、☒ チェックされていれば、**次へ(N) >** をクリックします。

- ・ ネットワークプロトコルを選択する画面が表示されます。

- 13** ネットワークで使用するプロトコルを一覧でチェックします。チェックが終われば、**次へ(N) >** をクリックします。



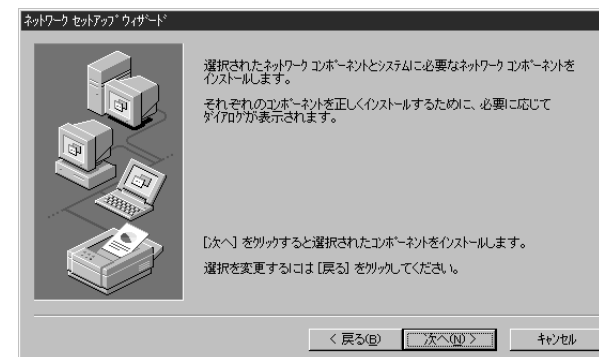
- ・どのプロトコルを使用するかは、ご使用になるネットワーク環境に合わせてお選びください。
- ・ネットワークサービスを選択する画面が表示されます。

- 14** ネットワークで使用するサービスを一覧でチェックします。チェックが終われば、**次へ(N) >** をクリックします。



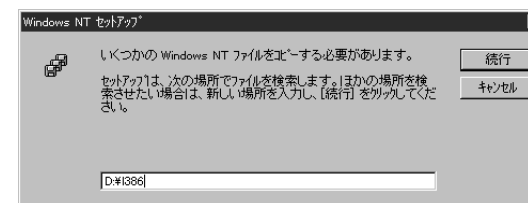
- ・どのサービスを使用するかは、ご使用になるネットワーク環境に合わせてお選びください。

- 15** プロトコルおよびサービスのインストールを確認する画面が表示されます。**次へ(N) >** をクリックします。



- ・インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。

- 16** WindowsNT4.0のネットワークオペレーションディスクのドライブ名とディレクトリ名を指定します。

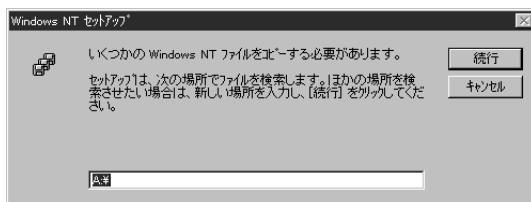


- ・PC/AT互換機およびNEC PC98-NXはWindowsNT4.0のネットワークオペレーションディスクで"I386"を指定します。
- ・NEC PC-9800(PC-9821)の場合は、"PC98"ディレクトリを指定します。
- ・CD-ROMからインストールするときは、WindowsNT4.0のディスクをドライブに入れます。

- 17** 指定が終われば、**続行** をクリックします。

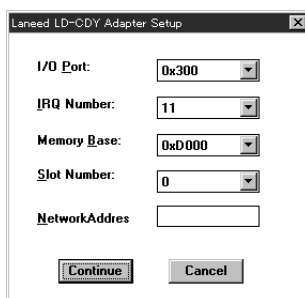
- ・もう一度、インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。

- 18 今度は、フロッピーディスクドライブを指定し、**続行** をクリックします。



・ 詳細設定の画面が表示されます。

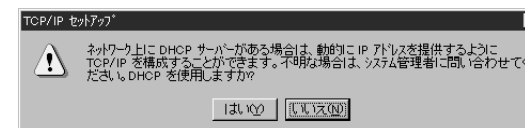
- 19 必要に応じて設定内容を変更します。



I/O Port	I/Oポートアドレスを設定します。自動的に空きアドレスに割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
IRQ Number	IRQを設定します。自動的に空き番号に割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
Memory Base	本製品のメモリベースアドレスを設定します。通常は変更する必要はありません。
Slot Number	本製品を装着するスロット番号を指定します。通常は変更する必要はありません。
Network Address	本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のNode ID(MAC アドレス)を入力します。Node ID(MACアドレス)は本製品の裏面に記載されている16進数の数字です。 Node ID: 0080C8 844084 ←この数字です(数字は異なります)。

- 20 設定が終われば、**Continue** をクリックします。

- プロトコルでTCP/IPを選択した場合は、DHCPを使用するか、選択の画面が表示されます。



- ・ ご利用になるネットワーク環境に合わせて、**はい(Y)** または **いいえ(N)** をクリックします。
- ・ バインド等を変更するための画面が表示されます。

- 21 必要に応じて内容を変更します。よろしければ **次へ(N) >** をクリックします。



- ・ ネットワークの導入が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

- 22 **次へ(N) >** をクリックします。



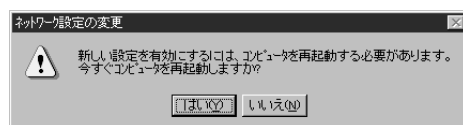
- ・ ワークグループ名などを設定する画面が表示されます。

23 必要に応じて入力し、**次へ(N) >** をクリックします。

・インストール完了のメッセージが表示されます。

24 **完了** をクリックします。

・再起動のメッセージが表示されます。

25 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、**はい(Y)** をクリックします。

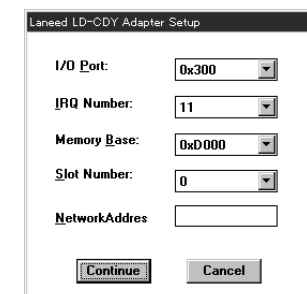
・WindowsNT4.0が再起動します。

これで、本製品のWindowsNT4.0への導入は完了です。

ネットワークが設定されているときの手順

すでにネットワークが設定されている環境へ本製品のドライバをインストールしたとき43ページ手順**11**の続きを説明します。

43ページの手順**11**の〈OEMオプションの選択〉画面で、"Laneed LD-CDY PCMCIA Ethernet Adapter"を選択し、**OK** をクリックすると、ドライバの詳細設定画面が表示されます。

12 必要に応じて設定内容を変更します。設定が終われば、**Continue** をクリックします。

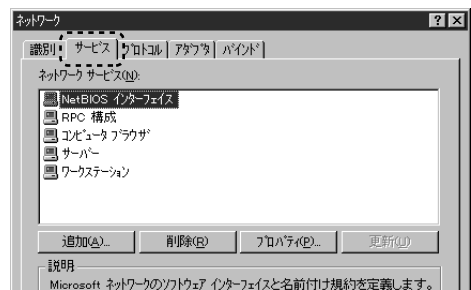
※項目の内容については、46ページの手順**19**を参照してください。

・〈ネットワーク〉画面に戻ります。

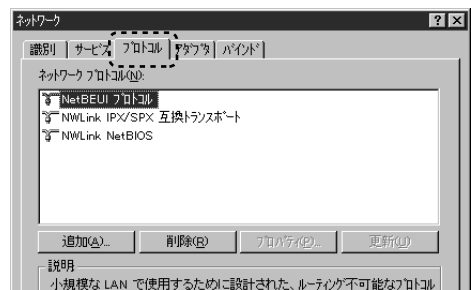
13 ネットワークアダプタにLaneed LD-CDY PCMCIA Ethernet Adapterと表示されているれば、ドライバのインストールは完了です。

続いて、必要なネットワーク環境の設定を行います。このあとは、設定の流れを説明します。実際の構成に合わせて設定してください。

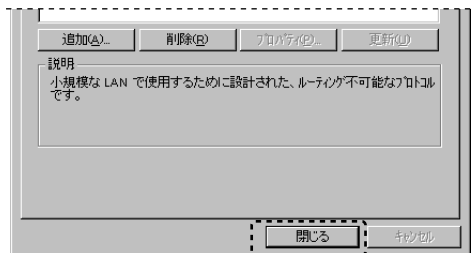
14 【サービス】タブをクリックして、必要なサービスを追加します。



15 【プロトコル】タブをクリックして、必要なサービスを追加します。

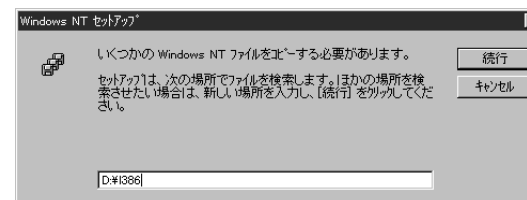


16 すべての設定が終われば、〈ネットワーク〉画面の [閉じる] をクリックします。



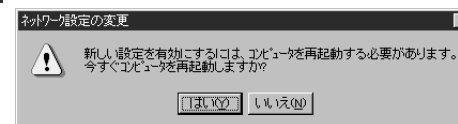
- ・ ファイルのコピーが始まります。

WindowsNT4.0のオペレーションシステムのCD-ROMを要求された場合、PC/AT互換機およびNEC PC98-NXのときは、WindowsNT4.0の"1386"ディレクトリを指定し、**[続行]** をクリックします。
NEC PC-9800(PC-9821)のときは"PC98"ディレクトリを指定します。



- ・ ハードディスクにインストールしているときは、インストール先のドライブ、ディレクトリ名を指定してください。

17 ファイルのコピーのあと、再起動のメッセージが表示されます。



- ・ フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、**[はい]** をクリックします。
- ・ WindowsNT4.0が再起動し、設定した内容が有効になります。

これで、WindowsNT4.0へのセットアップは終わりです。

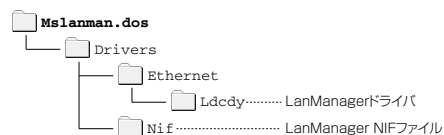
本製品には、Windows95およびWindowsNT4.0以外にも各種ネットワークOSに対応するドライバが付属します。ドライバおよびインストール手順は本製品に付属のディスクに収められています。それぞれのOSのドキュメントをご覧になり、インストールを行ってください。

■付属ディスクの内容

(出荷時期により多少内容が異なることがあります)

(PC/AT用)

■ Cardsoft LANEED Ethernet LAN Card CLBファイル



■ Ndis2 NDIS2ドライバ、NIFファイルほか

■ NetWare NetWare DOS ODIドライバインストールテキストマニュアル

■ Nt WindowsNT4.0/3.51インストールテキストマニュアル

■ Pktdrv パケットドライバほか

■ Win95 Windows95 インストールテキストマニュアル

●ルートディレクトリにあるファイル一覧

■ diag.exe DOS用テストプログラム

■ Dcd16.exe DOS用PCカードユーティリティ

■ Inst_dos.txt DOSドライバインストールテキストマニュアル

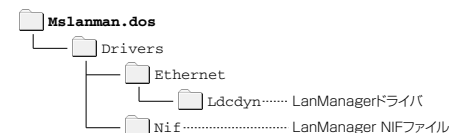
■ Lpxodi.com ■ Ldcy.com ■ Ldcy.ins
 ■ Lsl.com ■ Net.cfg ■ Netx.exe
 ■ Odidrv.com

..... 診断プログラム関連ファイル、NetWare Client用ファイル、ドライバほか

■ Ldcy.dos ■ Lacdy.dll ■ Ldcy.sys
 ■ Netldcdy.inf ■ Oemsetnt.inf

..... Windows95/NT用ファイル、ドライバ

(NEC PC-9800用)



■ Ndis2 NDIS2ドライバ、NIFファイルほか

■ NetWare NetWare DOS ODIドライバインストールテキストマニュアル

■ Nt WindowsNT4.0/3.51インストールテキストマニュアル

■ Pktdrv パケットドライバほか

■ Win95 Windows95 インストールテキストマニュアル

●ルートディレクトリにあるファイル一覧

■ Nscd.exe DOS用PCカードユーティリティ

■ Inst_dos.txt DOSドライバインストールテキストマニュアル

■ Ldcy.com ■ Ldcy.ins ■ Net.cfg NetWare Client用ファイル、ドライバ

■ Ldcy.dll ■ Ldcy.dos ■ Ldcy.dos
 ■ Ldcy.sys ■ Ldcy.sys ■ Netldcdy.inf
 ■ Oemsetnt.inf

..... Windows95/NT用ファイル、ドライバ

Windows95とWindowsNT4.0におけるアダプタのプロパティについて説明します。デフォルトは、一般的に最適な状態に設定されていますので、特に変更の必要はありません。

Windows95の場合

- ① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ② <ネットワーク> 画面の【ネットワークの設定】タブで"Laneed LD-CDY PCMCIA Ethernet Adapter"を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ 【詳細設定】タブをクリックすると、設定画面が表示されます。

Windows95において、本製品で設定できるプロパティは[NetworkAddress]だけです。この項目は本製品を2枚以上お使いの場合のみ設定が必要な項目です。通常は[なし]を選択してください。

■ <詳細設定> の画面

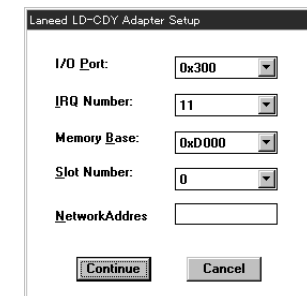


NetworkAddress	本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のNode ID(MAC アドレス)を入力します。Node ID(MACアドレス)は本製品の裏面に記載されている16進数の数字です。 Node ID: 0080C8 844084 ←この数字です(数字は異なります)。
----------------	--

WindowsNT4.0の場合

- ① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ② <ネットワーク> 画面の【アダプタ】タブで"Laneed LD-CDY PCMCIA Ethernet Adapter"を選択し、[プロパティ]をクリックします。<詳細設定>の画面が表示されます。

■ <詳細設定> の画面



I/O Port	I/Oポートアドレスを設定します。自動的に空きアドレスに割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
IRQ Number	IRQを設定します。自動的に空き番号に割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
Memory Base	本製品のメモリベースアドレスを設定します。通常は変更する必要はありません。
Slot Number	本製品を装着するスロット番号を指定します。通常は変更する必要はありません。
NetworkAddress	本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のNode ID(MAC アドレス)を入力します。Node ID(MACアドレス)は本製品の裏面に記載されている16進数の数字です。 Node ID: 0080C8 844084 ←この数字です(数字は異なります)。

本製品のPC/AT互換機用ドライバディスクに添付されているテストプログラムはDOS上で動作するため、テストプログラムを使用するには、DOS上でPCカードが認識できるように16bitドライバが導入されている必要があります。なお、NEC PC-9800(9821)シリーズにテストプログラムは付属しません。また、NEC PC98-NXシリーズはDOSの動作を保証しませんので使用できません。

カードサービスとソケットサービスについて

PCカードをDOSで利用するには、Windows95やWindowsNTなどにインストールされている32bitのPCMCIAコントローラ(カードドライバ)とは別にソケットサービスおよびカードサービスと呼ばれる16bitドライバが必要です。これらは、DOSに標準で装備されているものではなく、コンピュータ本体の付属品として添付されています。そのため複数のメーカーのソケットサービスおよびカードサービスが存在し、ドライバの設定内容もドライバやコンピュータ本体によって異なります。このあとの説明でPC-9800シリーズとPC/AT互換機に分けて、16bitドライバの導入方法の概要を説明します。

注 意 ご使用になるコンピュータ本体に付属するマニュアルを用意していただき、PCカードスロット用16bitドライバの導入方法についての説明ページ読んで正しく設定してください。

NEC PC-9800シリーズの場合

NEC PC-9800シリーズで本製品をDOS上で使用するには、ソケットサービスとカードサービスが同時に設定されている必要があります。ソケットサービスのみコンピュータ本体に標準で添付されているモデルでは、日本電気株式会社より別売されている「PCカード*サポートソフトウェア」をご用意ください。なお、ソケットサービスしか添付されていないモデルはNEC PC-9821 NeおよびPC-9801 NX/C, NS/A, NL/R, Pです。詳しい設定方法は、必ず、コンピュータ本体のマニュアルやカードサービスなどのドライバのマニュアルを参照してください。

MEMO 付属のドライバディスクにある"inst_dos.txt"には、DOSにドライバのインストールする簡単な説明があります。そちらもほうも参照するようにしてください。

●NEC PC-9800シリーズでのconfig.sysの記述例

```
DEVICE=A:¥DOS¥EMM386.EXE /UMB /E=DC00-DFFF .....①
DEVICEHIGH=A:¥DOS¥SSDRV.SYS.....②
DEVICEHIGH=A:¥DOS¥CS.EXE.....③
DEVICEHIGH=A:¥DOS¥CSALLOC.EXE A:¥DOS¥CSALLOC.INI ..④
```

- ①拡張メモリーマネージャEMM386.EXEがDC000h番地からDFFFFh番地を使用しないように指定します。
- ②ソケットサービス SSDRV.SYS を組み込みます。
- ③カードサービス CS.EXE を起動します。
- ④資源管理ユーティリティ CSALLOC.EXEを起動し、資源管理ファイル CSALLOC.INI から情報を取得します。

PC/AT互換機の場合

拡張メモリーマネージャ"EMM386.EXE"がUMB領域にメモリウィンドウを確保できるように、C8000h番地からCFFFFh番地を使用しないように設定します。設定方法をコンピュータ本体の仕様や付属しているカードサービス等のドライバのメーカーによって異なります。詳しい設定方法は、必ず、コンピュータ本体のマニュアルやカードサービスなどのドライバのマニュアルを参照してください。

MEMO 付属のドライバディスクにある"inst_dos.txt"には、DOSにドライバのインストールする簡単な説明があります。そちらもほうも参照するようにしてください。

●System Soft製Card Soft/Card Viewのconfig.sys記述例

```
DEVICE=C:¥HIMEM.SYS
DEVICE=C:¥EMM386.EXE RAM /X=C800-CFFF .....①
DEVICE=C:¥SS365SL.EXE.....②
DEVICE=C:¥CS.EXE .....③
DEVICE=C:¥CSALLOC.EXE C:¥CSALLOC.INI .....④
DEVICE=C:¥CARDID.EXE C:¥CARDID.INI
```

●IBM製"Play At Will"のconfig.sys記述例

```
DEVICE=C:¥HIMEM.SYS
DEVICE=C:¥EMM386.EXE RAM /X=C800-CFFF .....①
DEVICE=C:¥SSDOSAT.SYS.....②
DEVICE=C:¥IBMDOSCS.SYS .....③
DEVICE=C:¥RMUDOSAT.SYS /MA=C800-CFFF
```

●Phoenix製"Card Manager Plus"のconfig.sys記述例

```

DEVICE=C:\¥HIMEM.SYS
DEVICE=C:\¥EMM386.EXE RAM /X=C800-CFFF .....①
DEVICE=C:\¥PCMSS.EXE .....②
DEVICE=C:\¥PCMC.S.EXE /ADDR=C8 .....③
DEVICE=C:\¥PCMSCD.EXE /BEEP

```

- ①拡張メモリーマネージャEMM386.EXEがUMB領域にメモリウィンドウを確保します。C8000h番地からCFFFFh番地を使用しないように設定します。
- ②ソケットサービスを組み込みます。
- ③カードサービスを組み込みます。
- ④資源管理ユーティリティを組み込みます。

13

テストプログラムによるチェック

付属のPC/AT互換機用ドライバディスクには、DOS画面上から本製品が正常に動作しているかをチェックできるテストプログラムがあります。このマニュアルを読んでドライバをインストールしたが、エラーが頻繁に起きるときなど異常があった場合にご使用ください。なお、NEC PC-9800(9821)シリーズ用には付属しません。

注 意

テストプログラムを使用するには、PCカードをDOS上で認識できるようにカードサービス、ソケットサービスのような16bitドライバを導入する必要があります。詳しくは56ページ「12. 16bitドライバの導入」をお読みください。なお、このテストプログラムは、DOS専用です。Windows95,WindowsNT上では、ご使用になれません。また、NEC PC98-NXはDOSの動作を保証していませんので、ご使用になれません。

注 意

すでに16bit版のネットワークOSを組み込んでいる場合、システム起動時にDOS画面上で[F8]を押して、起動モードを選択する画面を表示させます。"5. step-by-step confirmation"を選択し、本製品のネットワークドライバを組み込まずに起動させてください。

- 1** 16bitドライバのソケットサービスおよびカードサービスが組み込まれた状態で、DOSを起動します。

- 2** 付属のPC/AT互換機用ドライバディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。

- 3** カレントドライブをフロッピーディスクドライブに変更します。

```

C:\¥>a: [Enter]
A:\¥>

```

- ・一般的にPC/AT互換機(DOS/V)はAドライブがフロッピーディスクドライブです。
- ・フロッピーディスクドライブが「Aドライブ」ならば、キーボードから[a] [↵]と入力し、[Enter]を押します。
- ・ドライブ名が"A"以外のときは、そのドライブ名に置き換えて入力してください。

- 4** usモードに変更します。

```

C:\¥>us [Enter]
A:\¥>

```

- ・キーボードから[u] [s]と入力し、[Enter]を押します。

5 キーボードから **[d]** **[i]** **[a]** **[g]** と入力し、**[Enter]** を押します。

C:\>diag **[Enter]** (一般的な例)

- ・テストプログラムが起動します。

6 起動画面で **[Enter]** を押します。

```
Welcome to the diagnostic program for the ethernet PCMCIA LAN Card.
The diagnostic program can be used to detect the PCMCIA environment,
view the adapters configuration, or run diagnostic.

Before running the diagnostic program make sure the PCMCIA environ-
ment are loaded and the card is enabled.

If it is not possible to run the PCMCIA drivers included with the
computer, DCD16.EXE should be executed before running diagnostic.

If you have previously loaded LAN card drivers, press ALT-CTRL-DEL
to reboot your computer.

To Continue, press Enter
To Exit, press Esc.
```

- ・メニュー画面が表示されます。

7 画面左に現在の設定状況が、右にメインメニューが表示されます。

```
----- Your PCMCIA Environment -----
No Card Service is installed.

PCMCIA Controller :
Intel 82365SL compatible

[Card Information]
Node ID -----> 00 80 C8 84 1F 4F
I/O Address -----> 300H
Interrupt Number -----> 11
PC-Card Slot -----> 0
```

```
----- Main Menu -----
Adapter Basic Diagnostics
Network Diagnostics
```

●Your PCMCIA Environment

PCMCIA Controller	PCMCIAコントローラのチップ名が表示されます。
Node ID	ノードIDを表示します。
I/O Address	本製品が使用するI/Oポートアドレスを表示します。
Interrupt Number	本製品が使用するIRQを表示します。
PC-Card Slot	本製品が使用するPCカードスロットの番号を表示します。

●Main Menu

Adapter Basic Diagnostics	本製品が正常に動作しているかを診断できます。
Network Diagnostics	本製品が2枚ある場合、2台のコンピュータをつないでネットワークが正常に稼働しているかを診断できます。

アダプタ診断テスト、ネットワーク診断の内容については、このあとの項目をお読みください。

⇒ テストプログラムを終了するには

[Esc] を押すたびに、ひとつ前の画面に戻ります。〈メインメニュー〉画面が選択可能な状態で **[Esc]** を押すと、終了することができます。

●アダプタ診断テスト

〈Main Menu〉で[Adapter Basic Diagnostics]を行うと本製品が正常に動作しているかを診断することができます。

① 〈Main Menu〉で[Adapter Basic Diagnostics]を選択し、**[Enter]** を押します。

```
----- Main Menu -----
Adapter Basic Diagnostics
Network Diagnostics
```

- ・テストが始まります。

② テスト結果が表示されます。

```
----- Adapter Diagnostic -----
Node Address : 00 80 C8 84 1F 4F
I/O Base Address : 300H
Interrupt Number : 11
PC-Card Slot : 0

----- Cycle 2 -----
Current I/O Base Address ..... PASS
DC-DC Convert, Oscillator, Crystal T7213 ... PASS
EEPROM ..... PASS
LAN Setup Registers ..... PASS
Memory ..... PASS
LAN Controller Functions ..... PASS
Loopback Mode Testing ..... Testing
```

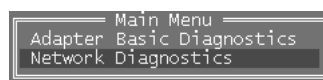
- ・各項目とも"PASS"と表示されれば正常です。"FAIL"と表示される場合はそのテスト項目に異常があると考えられます。64ページ付録「こんなときは」をお読みください。

- ・ **[Esc]** を押すと、テストを終了して 〈Main Menu〉に戻ります。

●ネットワーク診断

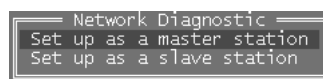
[Network Diagnostics]を選択すると、ネットワークの診断テストを行います。このテストを行うには、本製品を取り付けたコンピュータが2台必要です。この2台を10BASE-TケーブルでHUBを介して接続します。マスター側とスレーブ側を設定して同時にテストを実行してください。

- ①〈Main Menu〉で[Network Diagnostics]を選択し、**[Enter]**を押します。



・マスターとスレーブを選択する画面が表示されます。

- ②設定中のコンピュータをマスターにするか、スレーブにするかを選択します。



・相手側のコンピュータは、設定中のコンピュータと逆の設定にします。

- ③設定が終われば**[Enter]**を押します。

- ・診断テストが始まります。
- ・**[Esc]**を押すと、診断テストを終了します。

■ネットワークの診断テストの画面イメージ

Slave Status	
Node ID	00 80 C8 84 1F 4F
I/O Address : 300H	Test started at : 10:26:36
Interrupt Number : 11	Current time : 10:26:37
Transmit Packet Length	546
Transmit Packet Counter	974
Transmit Time Out Counter	0
Received Packet Length	546
Received Packet Counter	974
Received Error Counter	0
No Response Counter	0
Data Mismatch Counter	0

①	Transmit Packet Length	送信したパケットの長さ
②	Transmit Packet Counter	送信したパケットの数("10000"で終わり)
③	Transmit Time Out Counter	タイムアウトしたパケット数
④	Received Packet Length	受信したパケットの長さ
⑤	Received Packet Counter	受信したパケットの長さ
⑥	Received Error Counter	受信できなかったパケットの数
⑦	No Response Counter	送/受信できなかったパケットの数
⑧	Data Mismatch Counter	データの長さが送信側と受信側で合わなかった数

※備考 ①はひとつずつ増えます。②は⑤+⑦の数値です。

- ・テストで異常があった場合は、64ページ付録「こんなときは」をお読みください。

共通のトラブル

●本製品が正常に動作しない。

- ① ドライバを正しくインストールしましたか。各環境でのトラブル項目もお読みください。
- ② パワーマネージメント機能を有効にしていますか。有効にしているとPCカードスロットへの電源供給が止まります。
- ③ 本製品をPCカードスロットの奥までしっかりと差し込んでいますか。コンピュータ本体のマニュアルを読んで、本製品をPCカードスロットに確実に差し込んでください。

●本製品は正常に動作しているが、ネットワークが見えない。

本製品のケーブルに接続されたケーブルはネットワークに接続されていますか。ケーブルとケーブル、ケーブルと本製品のコネクタがしっかりと接続されていますか。ケーブルのLED表示を見てLinkが確立されているかを確認してください。

●診断プログラムを実行したが、画面が表示されない

- ① 付属のテストプログラムはPC/AT互換機専用です。NEC PC-9800(9821)では使用できません。またPC98-NXはDOSの動作を保証していませんので使用できません。
- ② DOSの日本語モードで起動していませんか。診断プログラムはUSモードでご使用ください。
→59ページ参照

Windows95環境でのトラブル

●本製品を差し込んで、新しいハードウェアが検出されない。

- ① PCMCIAコントローラ(32bitカードドライバ)が動作していない可能性があります。特に16bitカードドライバが動作しているWindows3.1からWindows95に移行した場合に多い現象です。このマニュアルの17ページを読んでPCMCIAコントローラが正常に動作しているか確認してください。また、CONFIG.SYSにて16bitカードソフトの記述の文頭にremを入れることで新しいハードウェアが検出されるようになります。
- ② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイス]タブでチェックすると[その他のデバイス]に「IC-CARD-IC-CARD」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、[デバイス]から「IC-CARD-IC-CARD」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページを読んでセットアップしてください。

●PCカードスロットがひとつしかないため、CD-ROMドライブが使えない。

セットアップを始める前に、Windows95システムソフトウェアのCD-ROMにある「win95」ディレクトリの内容をすべてハードディスクにコピーしておきます。セットアップ中にWindows95CD-ROMを要求されたら、CD-ROMの代わりにハードディスク内の「win95」ディレクトリを指定してください。

- [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイス]タブでチェックすると[その他のデバイス]に「Laneed-LD-CDY」として登録されている。または、[コントロールパネル]の[PCカード]においても同様に表示される。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイス]より上記のデバイスを一度削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページを読んでセットアップしてください。

●起動画面にて「Laneed LD-CDY? ...00xが正常に動作していない。」というようなエラーメッセージが表示される。

- ① IRQおよびI/Oポートアドレスが競合している可能性があります。[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイス]タブで[PCMCIA/ラット]にある「Laneed LD-CDY...」のプロパティを開き、リソースを手動で設定し直してください。
- ② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイス]タブでチェックすると[その他のデバイス]に「Laneed-LD-CDY」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、[デバイス]から「Laneed-LD-CDY」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページを読んでセットアップしてください。

●ドライバのインストール時に、ファイルのコピーが正しく行えなかった。

一度、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイス]タブで[PCMCIA/ラット]にある「Laneed LD-CDY...」ドライバを削除して、再起動後に新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページを読んでセットアップをやり直してください。

●ドライバは正常に動作しているが、ネットワークが見えない、使えない。

ケーブルが正しく接続されていないなどハードウェア的なトラブルはありませんか。また、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]でプロトコル、サービスなどが正しく設定されているかチェックしてください。ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境によって異なります。設定すべき内容がわからない場合は、ご使用になるネットワークのシステム管理者にお尋ねください。

WindowsNT環境でのトラブル

●システム起動時にエラーが発生し、「イベントビューア」で確認するとデバイスの競合が確認された。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[ネットワーク]で、本製品のプロパティを開き、他のデバイスと競合しないようにリソースの設定を変更してください。

●PCMCIAサービスが開始されていない。

ケーブルが正しく接続されていないなどハードウェア的なトラブルはありませんか。また、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]でプロトコル、サービスなどが正しく設定されているかチェックしてください。ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境によって異なります。設定すべき内容がわからない場合は、ご使用になるネットワークのシステム管理者にお尋ねください。

MS-DOS(PC-DOS)+Windows3.1環境でのトラブル

- NOSにドライバを組み込んでもLanecdカードが認識されない。
16Bitカードドライバが正常に動作していないことが考えられます。このマニュアルの56ページを読んで16bitカードドライバを組み込んでください。
- リソースが競合して正常に動作しない。
NetWareの場合は、NET.CFGにてリソースを設定してください。LanManagerの場合は、PROTOCOL.INIにてリソースを設定してください。その他のネットワークOS(NOS)の場合は、各NOSのマニュアルを参照してください。本製品のドライバディスクに付属のDCD16.EXEを使って設定することも可能です。これらのプログラムの使いかたはドライバディスクのDOSインストールのReadmeファイルをお読みください。

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。また、FAX情報によるサービス、ネット上によるオンラインサービスも提供しています。なお、サポートセンターでサービスを受けるために、あらかじめ本製品に添付されているユーザ登録はがきをご投函くださいますようお願いいたします。修理品の送り先については、10ページをご覧ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3981-4147 FAX : 03-3981-2102

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間行っております。

●インターネット

<http://www.elecom.co.jp>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000	大阪：06-455-6000
名古屋：052-453-6000	福岡：092-482-6000
札幌：011-210-6000	仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000	

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの付録「こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:

使用しているOS:

使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):

ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:

ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象について

具体的な現象:

事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

基本仕様

商品名	PCMCIA TYPE II 準拠 10Mbps イーサネットPCカード
製品型番	LD-CDY
メディアタイプ	10BASE-T
伝送速度	10Mbps
ケーブル規格	IEEE802.3標準/Ethernet Ver2.0
対応バス	PCMCIA TYPE II
割り込みレベル	自動設定
I/Oポートアドレス	自動設定
LED	付属のメディアカブラによる表示 Ln/Rx(緑:リンクの確立およびデータ受信) Col(黄:コリジョンの発生) Tx/On(緑:電源供給およびデータ送信)
適合規格	FCC Part 15 Class B, CEマーキング, VCCI第二種情報処理装置基準
消費電力	0.25W
動作温度	動作時:0～55℃ 保管時:-20～80℃
動作湿度	10～90%(結露なきこと)
対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、 NEC PC-9800シリーズでPCカードスロット(PCMCIA TYPE II)を持つ機種
対応OS	Windows95、WindowsNT4.0、WindowsNT3.51 NetWare4.11J、NetWare4.10J、NetWare3.12JのNetWare各クライアント版、Ms-Lanmanager
付属品	メディアカブラ、ドライバディスク(2枚)、ユーザズマニュアル、 ユーザ登録カード、保証書

各営業拠点のご案内

本 社	〒541-8765 大阪市中央区瓦町3-5-7大阪長銀ビル7F
大阪支店	〒541-8765 大阪市中央区瓦町3-5-7大阪長銀ビル10F TEL.06-229-2957(代) FAX.06-229-2729
東 京 エシユ-マ-支店	〒170-8765 東京都豊島区東池袋3-13-2住友不動産東池袋ビル5F TEL.03-5950-4531(代) FAX.03-5950-1409
東 京 システム支店	〒170-8765 東京都豊島区東池袋3-13-2住友不動産東池袋ビル5F TEL.03-5950-4131(代) FAX.03-5950-4133
札幌支店	〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1塚本ビル3F TEL.011-281-2450(代) FAX.011-281-2451
仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-15日本生命仙台勾当台南ビル3F TEL.022-215-4411(代) FAX.022-215-4412
横浜支店	〒220-0004 横浜市西区北幸2-9-10横浜HSビル2F TEL.045-323-5971(代) FAX.045-323-5973
名古屋支店	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19名古屋長銀ビル9F TEL.052-223-2531(代) FAX.052-223-2535
広島支店	〒730-0016 広島市中区鞆町13-11明治生命広島鞆町ビル7F TEL.082-228-5920(代) FAX.082-228-7620
福岡支店	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-35福岡祇園第一生命ビル12F TEL.092-262-5858(代) FAX.092-262-2053
盛岡営業所	〒020-0022 盛岡市大通3-3-10七十七日生盛岡ビル7F TEL.019-653-0228(代) FAX.019-653-0227
高崎営業所	〒370-0828 高崎市宮元町38-10住友生命高崎ビル6F TEL.027-328-8861(代) FAX.027-328-8862
金沢営業所	〒920-0022 金沢市北安江1-3-24ピア金沢5F TEL.076-233-7046(代) FAX.076-233-7048
松山営業所	〒790-0001 愛媛県松山市一番町1-15-2住友生命松山一番町ビル6F TEL.089-921-5706(代) FAX.089-921-5537
熊本営業所	〒860-0806 熊本市花畑町1-1三井生命熊本ビル3F TEL.096-351-4711(代) FAX.096-351-4798

PCMCIA TYPE II 準拠 イーサネットPCカード

LD-CDY

ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社

1998年6月10日 第1版

***Lan*eed**
ELECOM